

ひまわりばたけ

瓢鰻亭 ひまわり書店 みやこ町豊津 326-1 Tel 0930-33-8080



瓢鰻亭は今

前田 賤



ようやく暑さが退いたかと思えば寒さの染みる朝晩です。瓢鰻亭の庭に楓の木が三本あり、十一月も終わり近くになっても青々としていました。並び立っている樺や百日紅などの落葉樹は早くに色づき葉を落としてしまいうようになってようやく紅葉し、今を見ごろと燃え盛っております。

十一月には県立図書館より県内書店、図書館を県民に広く紹介するという企画への参加のお誘いを受け、企画展示に向けたお勧めの本を三冊、紹介させていただきました（うち二冊の紹介文は本紙裏面に再掲しています）。

定例の「絵本の会」の十一月例会ではその三冊を朗読したり、隠し絵

さがしをしたりと子どもさんも交えて楽しいひと時を過ごしました。

その後、ご近所探索で藪や繁みを歩き回ったら何と衣服、特に裾周りは草の実がびっしりとくっついていてはありませんか。」「くっつきば」と言われるくらいです。両手で払ったくらいでは取れるものではありませんでした。植物が子孫を残すための手段として生き物の動きをこの様に利用するのかと納得した次第でもありました。

十二月の例会は年末ですのでお休みにいたしましょうと言うことになりました。次回は年明け一月第三日曜日十三時からです。当日は歌留多会をします。「百人一首なんて子どもの頃にやっただくらいで忘れてしまった」ですよ。でもこの際やってみましょう。お待ちしております。

くっつきば(ひっつき虫)については甲斐信枝さんに「ぼくはたね」(岩波書店)という素敵な絵本があります。(付記)

年末年始は平常通りに営業しています。お子様連れでぜひ、ご来店ください。



本とその周辺

▽俳人金子兜太が亡くなる二年前の二〇一六年に上梓した「いま、兜太は」には自選の一〇八句が掲載されており、折々に再読、再再読を続けている。その際に必ず立ち止まってしまうのが「原爆許すまじ蟹かつかつと瓦礫あゆむ」という句である。▽何より「かつかつ」という音の響きが良い。そして「原爆許すまじ」と高らかに宣言する実作者の覚悟、立ち止まる所以はこんなところにあると思う。この先に悲惨や悲嘆を読み取ることは読む者の自由なんだろう。

▽もう一句、「暗闇や関東平野に火事一つ」という句にも必ず立ち止まる。目の前に広がるモノクロの世界。昔、何度も利用した東北本線の夜行列車が思い出されてならない。

館本
書な
図人
立こ
県に
を紹



きつねのホイディ

シビル・ウエッタシンハ作

松岡きょうこ訳

福音館書店

絵本を買いにお孫さん連れのお客様が「おばあちゃんのおうちの本は悲しいお話ばかりって孫が言うので、本人を連れてきました」と言いますのでお孫さんに「どんな本が悲しかった？」と尋ねると『モチモチの木』とか『花さき山』とか……と言います。小学校一年生にとつてはおばあちゃん好みの切り絵の美しい民話風の絵本は悲しいと受け止めるのかと思います。

そこで私のおすすめ「きつねのホイディ」を読んでもあげましたところ、声を上げて笑うのでした。スリランカの作品で、キツネが人間の格好をして人を騙すおはなしですが化け

方は日本と違って簡単。人間の衣装をまとうだけ。

お話はスリランカの小さな村に住む三人の元気のいいおかみさんの所に食いつく坊の狐がやって来て、外に干してある洗濯物に身を包み旅人の振りをしてそれぞれの家でどこそに遊ぶのです。相手が狐だと知りながら御馳走でもてなす三人のおかみさん。狐はと言うと、騙された三人をバカ呼ばわりをし、それを知った彼女たち。その仕返しはと言えど何とかがつて身にまとうた自分の花嫁衣裳を狐に着せて存分にかからうのです。

美しく描かれたスリランカの昔の（？）生活風景と松岡享子さんの翻訳の素晴らしいに日本語のありようを考えさせられるのでした。



父は空 母は大地——インディア ンからの伝言

寮美千子編訳

ロクリン社

一九九五年にこの本は出版され、同様の出版物もその頃は何種かありました。当時北九州地域の高校の図書委員の生徒さんの集まりに、講師として招かれた私は大勢の高校生を前にこの本の朗読（読み聞かせ？）をしたのです。

三〇年近くも前のことです。今と違って絵本はまだまだ発展途上にあり、高校生に絵本の紹介と言うのも少々ためらいがありました。何しろ相手は図書委員さん達。熱心に聞いてくださり、中には涙を拭う人もありました。

以後私の店ではこの本は欠かさず常備しておりましたが、いつの頃でしたか出版元の都合で長い間入手不能でしたが今再び手に取ることが出来ました。

これはヨーロッパから人々が新大陸アメリカに渡り先住民の暮らす大地を「開拓」し各国の植民地とし、先住民に対して絶滅作戦を行いました。激しい戦いの末、これ以上犠牲者を出さないため先住民の首長シアトルはやむなくアメリカ合衆国の申し出に同意しました。その時、シアトル首長からアメリカ大統領への伝言がこの「父は空 母は大地」なのです。

12月のひまわりイベント

- ▶12日(金)
楽しく歌おう 松尾範子教室 10時
- ▶13日(土)
ひまわり連歌 11時から
- ▶20日(土)
子ども連歌 17時から
- ▶26日(金)
楽しく歌おう 松尾範子教室